

Laneed ネットワーク設定マニュアル

Windows XP 編

1. ネットワークサービスとTCP/IPプロトコルを設定する	2
2. コンピュータ名とワークグループを設定する	6
3. フォルダ/ドライブやプリンタを共有する	9
フォルダ/ドライブを共有する	9
・他のコンピュータの共有フォルダやドライブにアクセスする	12
プリンタを共有する	13
・サーバ側のコンピュータについて設定する	13
・クライアント側のコンピュータについて設定する	16
4. Windows XP のアカウントとアクセス権限を設定する	21
アカウントを登録する	21
アクセス権限が設定できるようにオプションを変更する	24
・フォルダオプションを変更する	24
・Guest アカウントを無効にする	26
フォルダなどのアクセス権限を設定する	28

1

ネットワークサービスとTCP/IPプロトコルを設定する

Windows XPでネットワークが利用できるようにネットワークサービスとTCP/IPプロトコルを設定します。ネットワークサービスについては[基礎知識編-11]ページ「サービス」、TCP/IPプロトコルについては[基礎知識編-12]ページ「3. TCP/IPプロトコルとIPアドレス」をお読みください。



コンピュータ管理者

Windows XPは複数のユーザー名でコンピュータを使用できます。その中でシステムやデバイス、ネットワークなどの設定・変更が許されるのは「コンピュータの管理者」という権限を持つユーザーだけです。通常使用しているユーザーの権限を確認するには、[スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]を開きます。アカウントのユーザー名の下に「コンピュータの管理者」と表示されているかを確認してください。



[マイネットワーク]が表示されている場合

[マイネットワーク]を右クリックし、メニューの[プロパティ]を選択する方法もあります。〈ネットワーク接続〉画面が表示されますので、手順 5へ進みます。



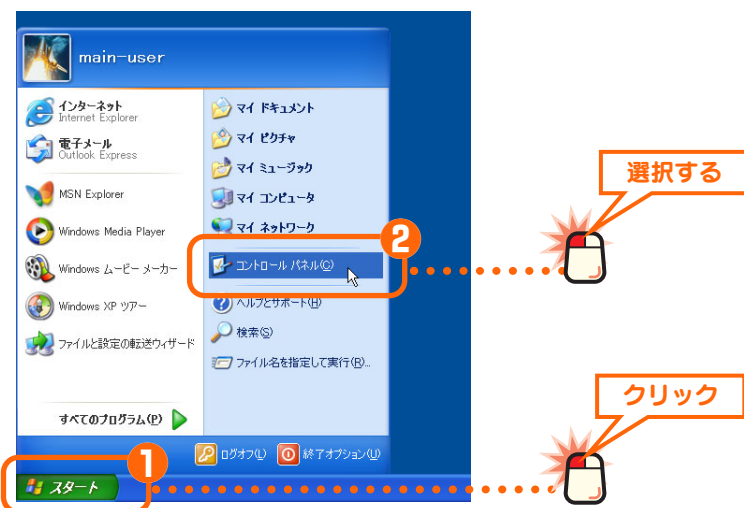
クラシック表示の場合

[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックします。手順 5へ進みます。



1 Windows XPには、「コンピュータ管理者」の権限を持つアカウントでログオンしておきます。

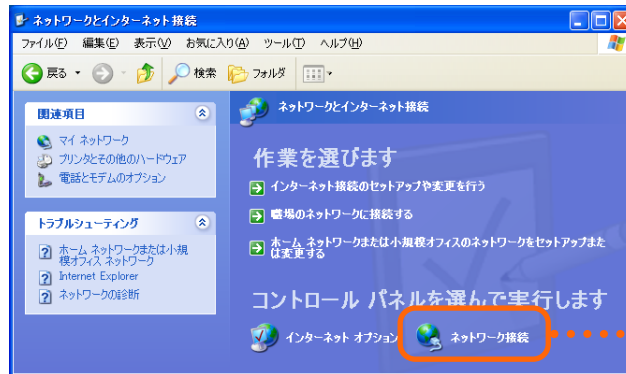
2 ①[スタート]ボタン→②[コントロールパネル]を選択します。



3 コントロールパネルにある[ネットワークとインターネット接続]を選択します。



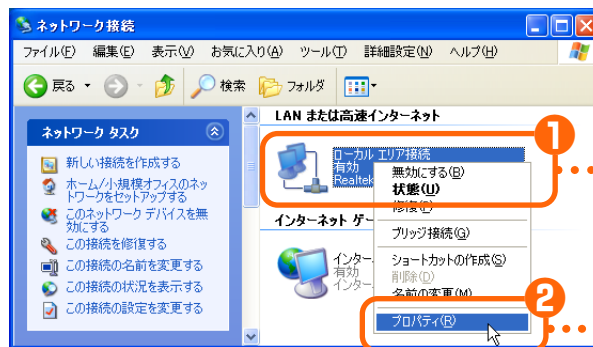
4 [ネットワーク接続]を選択します。



[ローカルエリア接続]の表示について

ご使用の環境によっては、[ローカルエリア接続 2]というように最後に番号が付いている場合がありますが操作には関係ありません。

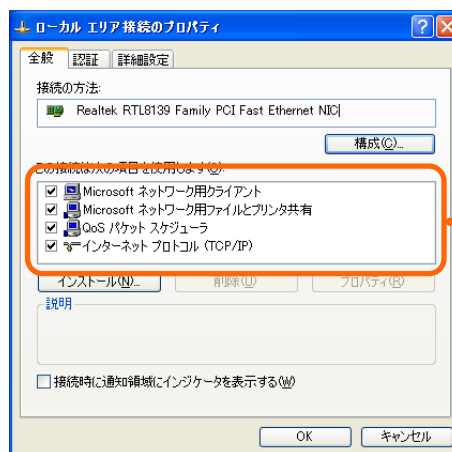
5 ①[ローカルエリア接続]を右クリックします。 ②[プロパティ]を選択します。



アダプタの名称について

[接続の方法]に表示されているアダプタ名は、実際にはご使用のLANアダプタの名称が表示されます。

6 LANを利用するのに必要な項目が有効になっているかを確認します。



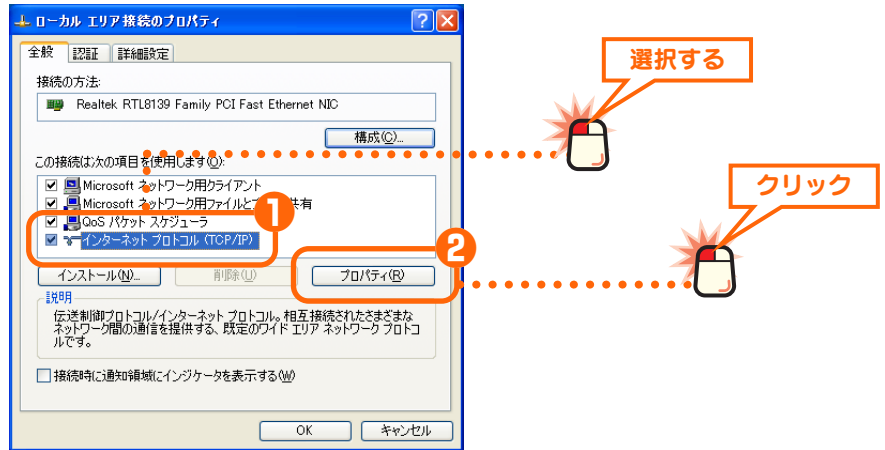
オフになっているときは

オフ(□)の状態の場合はチェックボックスをクリックしてオン(☑)の状態にします。

●以下の項目のチェックボックスがオンになっていることを確認します。

- Microsoft ネットワーク用クライアント
- Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
- インターネットプロトコル(TCP/IP)

- 7** ① [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択します。
 ② **プロパティ** ボタンをクリックします。



DHCP サーバ機能とは

ルータなどに標準で装備されている機能です。ネットワーク上のコンピュータに IP アドレスを自動的に割り当てることができます。詳しくは [基礎知識編-14] ページ「IP アドレスの設定が不要になる『DHCP サーバ』」をお読みください。

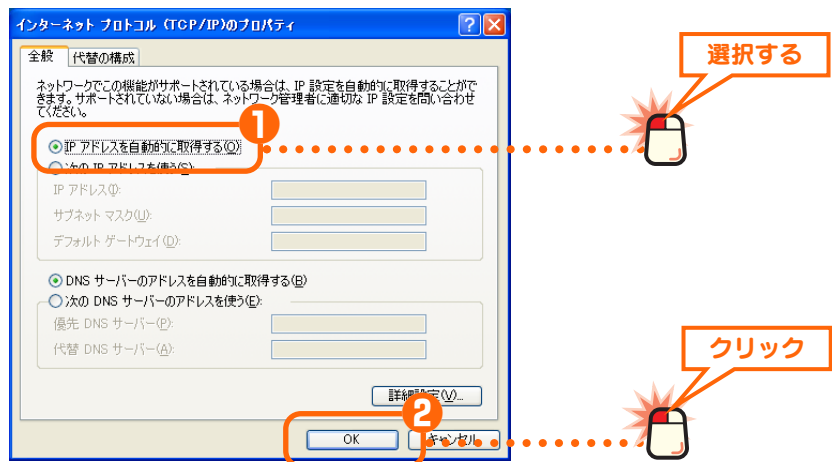


TCP/IP プロトコルの初期値は [IP アドレスを自動的に取得する] になっていますので、通常は確認するだけになります。

- 8** ご使用の環境に合わせて IP アドレスの設定方法を指定します。

●ルータなどの DHCP サーバ機能を利用している場合

- ① [IP アドレスを自動的に取得する]を選択します。
 ② **OK** ボタンをクリックし、手順 **9** へ進みます。



**入力時のポイント**

「.」を入力する必要はありません。アドレスが3桁未満の場合は キーを押すと、となりの入力位置へカーソルが移動します。

**デフォルトゲートウェイ**

通常、小規模ネットワークでは「デフォルトゲートウェイ」を設定する必要はありません。インターネット接続などでプロバイダより指示がある場合は、その指示に従ってください。

**[閉じる]ボタンが表示された場合**

設定を変更した場合は、**OK** ボタンではなく **閉じる** ボタンが表示されることがあります。その場合は **閉じる** ボタンをクリックしてください。

**再起動画面が表示された場合**

コンピュータを再起動するようにメッセージが表示された場合は **はい** ボタンをクリックして、Windows を再起動してください。

● DHCPサーバ機能を利用していない場合

ネットワーク上の各コンピュータにIPアドレスを手入力する必要があります。あらかじめ記入しておいた「マイネットワーク設定リスト」(→[基礎知識編-15]ページ)を元に、次の手順でIPアドレスを入力します。

① [次のIPアドレスを使う]を選択し、以下の操作をします。

- ・ [IPアドレス]にあらかじめ決めた「192.168.」から始まる数値を入力します。
- ・ [サブネットマスク]の入力スペースにカーソルを移動します。自動的に「255.255.255.0」と入力されます。

② **OK** ボタンをクリックし、手順 ⑨ へ進みます。

⑨ **〈ローカルエリアネットワーク接続のプロパティ〉画面に戻りますので **OK** ボタンをクリックします。**

⑩ **〈ネットワーク接続〉画面の右上にあるクローズボックス をクリックします。**

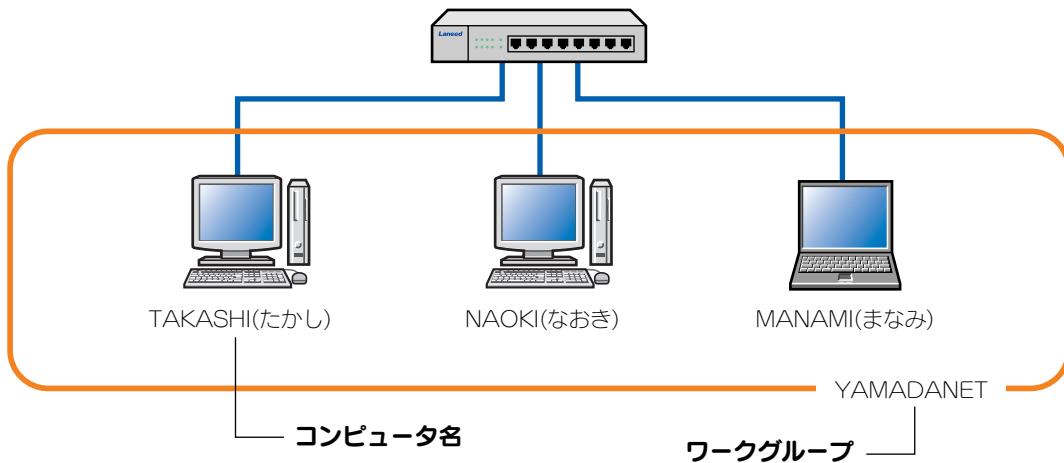
これでネットワークサービスとプロトコルの設定は完了です。このあとはコンピュータとネットワークの名前を設定します。次ページ「2.コンピュータ名とワークグループを設定する」へ進みます。

2

コンピュータ名とワークグループを設定する

ネットワークに接続するコンピュータをそれぞれ区別するために、各コンピュータに名前を付けます。また、ネットワークに「ワークグループ」と呼ばれるグループの名前を設定します。同じワークグループに所属するコンピュータだけがファイルなどを共有できます。コンピュータ名とワークグループの詳しい説明については[基礎知識編-10]ページ「コンピュータとネットワークの名前」を参照してください。

●コンピュータ名とワークグループ

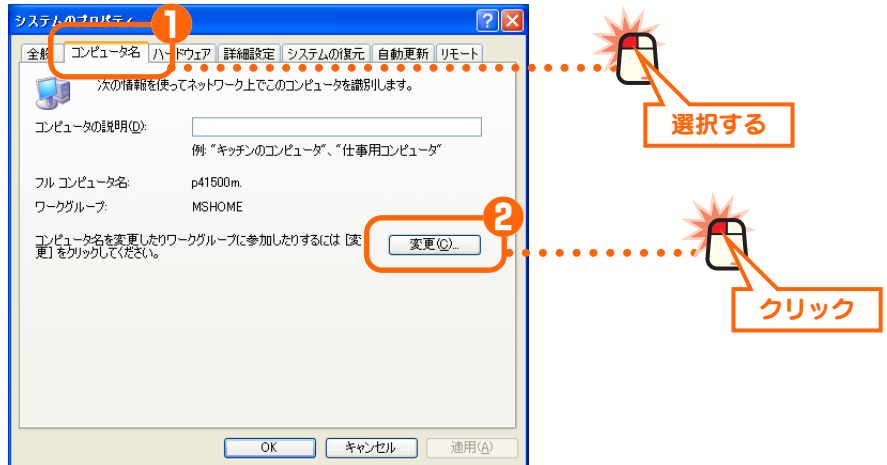


※コンピュータ名およびワークグループの名前は半角英数字で設定してください。

- 1 [スタート]ボタン→2 [マイコンピュータ]を右クリックします。
- 3 メニューの[プロパティ]を選択します。

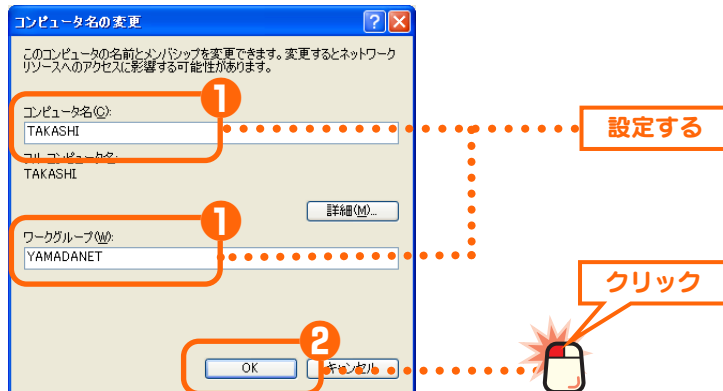


- 2** ① 【コンピュータ名】タブを選択します。
② 変更 ボタンをクリックします。



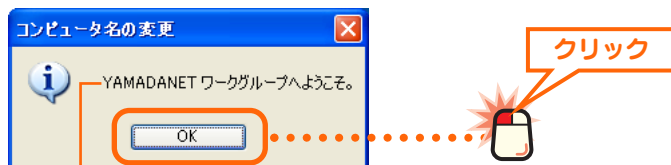
Windows XP Professional
では
ワークグループとドメインを選択
するようになっています。[ワーク
グループ]を選択し、ワークグル
ープの名前を入力してください。

- 3** ① コンピュータ名とワークグループの名前を入力します。
② OK ボタンをクリックします。



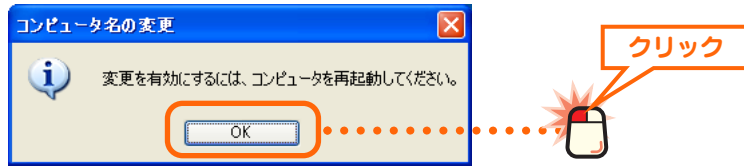
・コンピュータ名とワークグループの名前に使用できる文字は半角英数字(A～Z、0～9)と「-」で、15文字まで入力できます。漢字などの2バイト文字はトラブルの原因になりますので使用しないでください。

- 4** ワークグループ名を変更した場合は以下の画面が表示されますので OK ボタンをクリックします。
コンピュータ名だけを変更した場合はこの画面は表示されま
せんで次の手順 **5** へ進みます。

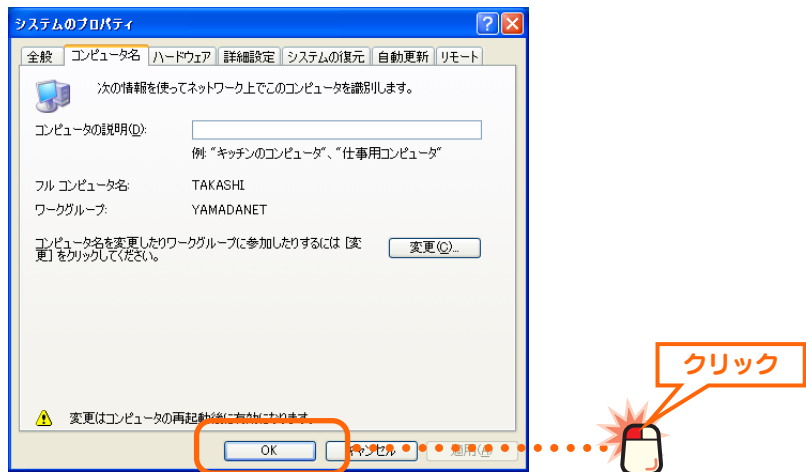


新しく入力したワークグループの名前が表示されます。

- 5** 以下の画面が表示されますので **OK** ボタンをクリックします。

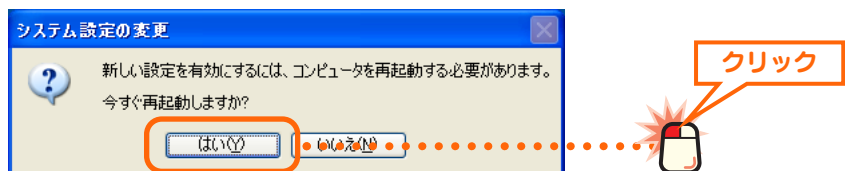


- 6** <システムのプロパティ> 画面の【コンピュータ名】タブに戻りますので **OK** ボタンをクリックします。



新しく設定したコンピュータ名とワークグループは、再起動するまでは使用できません。

- 7** 再起動を確認するメッセージが表示されますので **はい** ボタンをクリックします。



Windows が再起動すると新しく設定したコンピュータ名とワークグループが有効になります。このあとはネットワークで共有するフォルダやドライブ、プリンタの設定をします。次の「3.フォルダ/ドライブやプリンタを共有する」へ進みます。



フォルダ/ドライブや プリンタを共有する

これまでにネットワークを利用するための準備ができました。実際にネットワークを利用するには、コンピュータごとに共有設定をおこなう必要があります。ここでは小規模ネットワークでよく利用するファイル共有とプリンタ共有の方法について説明します。ファイル共有とプリンタ共有の概念については、[基礎知識編-3]ページ「1. コンピュータが2台あればLANでつながろう」をお読みください。

●ファイル共有(フォルダ/ドライブの共有)→このあと

自分のコンピュータにあるファイルを他のコンピュータのユーザが参照できるように共有設定をおこないます。共有できるのはフォルダ単位またはドライブ単位で、共有したフォルダまたはドライブ内にあるすべてのフォルダやファイルを参照できます。

●プリンタ共有→[XP編-13]ページ

プリンタを共有すると複数のコンピュータに対してプリンタが1台しかない場合でも、ネットワークを利用してすべてのコンピュータから印刷できるようになります。

フォルダ/ドライブを共有する

フォルダ単位またはドライブ単位で共有設定をおこないます。ここでは例として任意のフォルダを作成し、そのフォルダを共有化する方法を説明しています。

📌 共有フォルダや共有ドライブの中にあるフォルダについて

フォルダやドライブを共有化すると、共有化したフォルダ/ドライブの中にあるすべてのフォルダが共有化されます。そのためすべてのフォルダ内のファイルを他のコンピュータから参照できるようになりますのでご注意ください。共有化したフォルダ/ドライブの中にあるフォルダを参照されたくない場合はフォルダを別の場所に移動するなどしてください。



共有フォルダ名について

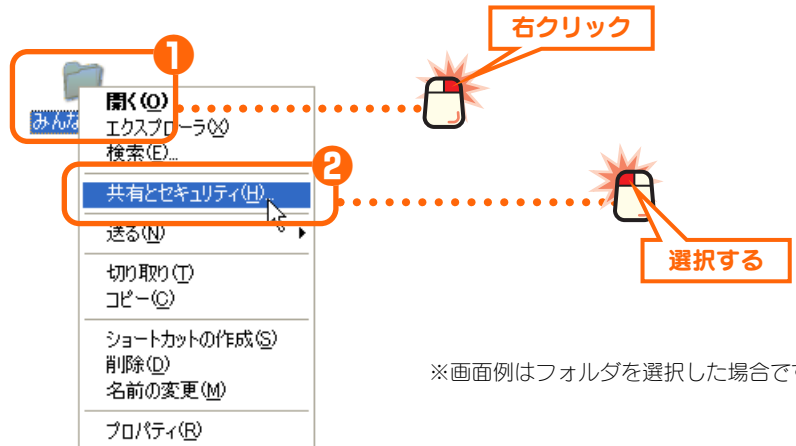
Windows Me/98を使用するコンピュータがネットワーク上にある場合は、半角英数字などでフォルダおよびドライブ名を作成してください。全角文字を使用すると正常に認識されないなどの問題が発生します。Windows XP/2000だけの場合は全角文字を使用してもかまいません。

- 1 新しいフォルダを共有する場合、お好みの場所に新しいフォルダを作成します。ドライブを共有する場合や、すでにあるフォルダを共有する場合は次の手順へ進みます。



- ・新しくフォルダを作成した場合は、フォルダ名をわかりやすい名称に変更します。漢字などの全角文字を使用することもできます。

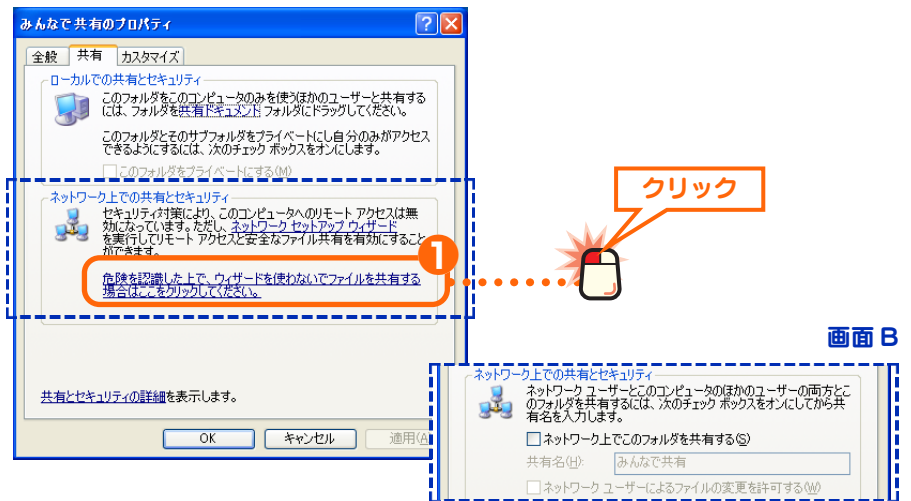
- 2** ① 共有したいフォルダまたはドライブを右クリックします。
- ② メニューから[共有とセキュリティ]を選択します。



※画面例はフォルダを選択した場合です。

- 3** ご使用の環境によって画面 A または画面 B が表示されます。画面 A の場合は以下の ① ~ ③ の操作をします。画面 B の場合はそのまま手順 **4** へ進みます。

画面 A

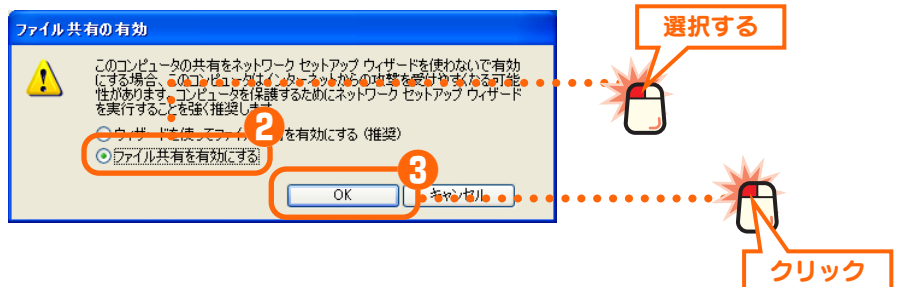


画面 A が表示された場合

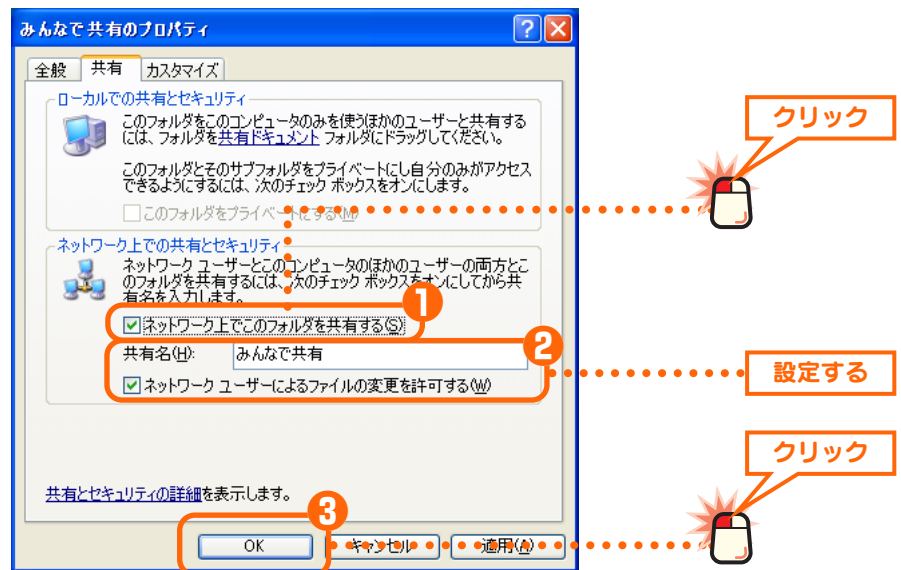
画面 A の場合、「ネットワークセットアップウィザード」を使うと画面の説明通りに手順を進めるだけでネットワーク設定ができますが、ご自分で共有化を設定していないフォルダが自動的に共有化されるためお勧めできません。この設定ガイドではウィザードを使用せずに手動で設定する手順で説明します。

●画面 A の場合

- ① [危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。] をクリックします。
- ② 以下の画面が表示されますので、[ファイル共有を有効にする]を選択します。
- ③ **OK** ボタンをクリックし、手順 **4** へ進みます。



- 4** ① [ネットワーク上でこのフォルダを共有する] をオンにします。
- ② 必要に応じてオプション項目の設定を変更します。
- ③ **OK** ボタンをクリックします。



●共有名

マイネットワークで表示される名称です。初期値ではフォルダの場合はフォルダ名が、ドライブの場合はドライブ番号が表示されます。フォルダの場合はそのままにしておくことをお勧めします。

●ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する

この項目がオンの場合は、他のコンピュータの利用者が共有フォルダにあるファイルの内容を変更/削除したり、利用者のコンピュータにあるファイルを共有フォルダにコピーするなどの操作ができます。オフの場合には利用者は共有フォルダのファイルを開くかコピーすることしかできません。

5 アイコンに手のひらマークが付きます。



- ・手のひらマークが共有中のフォルダ/ドライブアイコンであることを表します。

これでフォルダまたはドライブの共有設定は完了です。

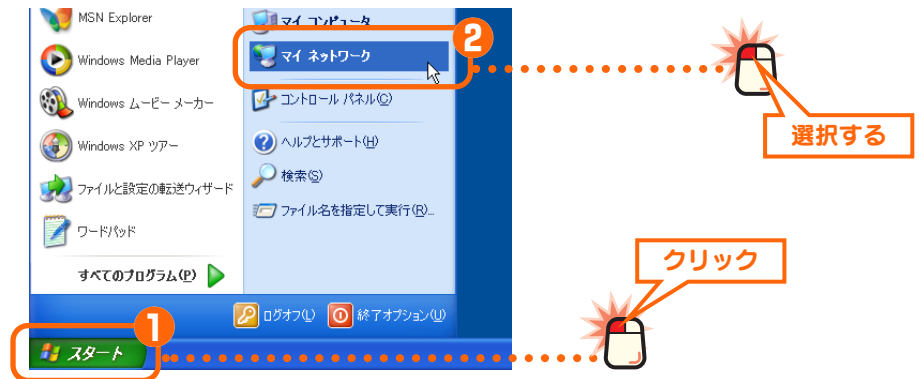
📌 共有化したフォルダやドライブの下層フォルダについて

フォルダやドライブを共有化すると、共有化したフォルダ/ドライブの中にあるすべてのフォルダも共有化されますのでご注意ください。共有化したフォルダ/ドライブ内にあるフォルダを共有化したくない場合は別の場所に移動してください。

他のコンピュータの共有フォルダやドライブにアクセスする

他のコンピュータの共有フォルダやドライブにアクセスする方法を説明します。

1 ①[スタート]ボタン→②[マイネットワーク]を選択します。



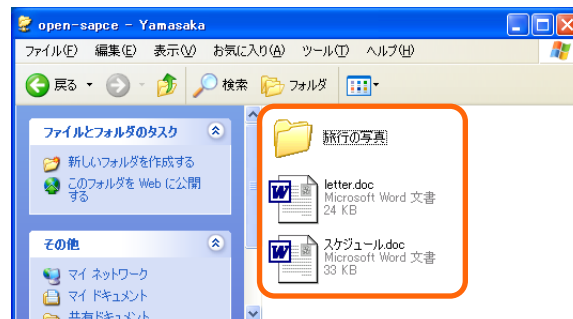
2 アクセスしたいフォルダまたはドライブのアイコンをダブルクリックします。



アクセスを拒否されたり、パスワードの入力を要求された

フォルダやドライブを共有設定している側でアクセス権限を設定している場合は、アクセスを拒否されたり、パスワードの入力を要求されます。このような場合はアクセス先のコンピュータのユーザーに設定状態を確認し、必要に応じてアクセス権限を変更してもらったり、パスワードを覚えてもらったりしてください。

3 相手の共有フォルダまたはドライブにあるファイルが表示されます。



このあとは共有設定のアクセス権限に合わせてファイルをコピーしたり、変更したりできます。

プリンタを共有する

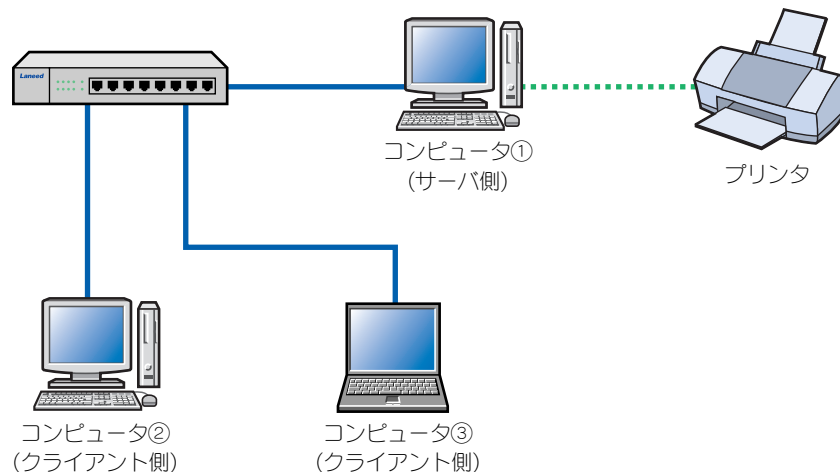
ネットワーク上のいずれかのコンピュータにプリンタが接続されている場合、そのプリンタを共有化することで他のコンピュータからもネットワークを経由してそのプリンタから印刷できるようになります。



サーバとクライアント

一般的にプリンタ共有では、プリンタを直接接続したコンピュータを「サーバ」と呼びます。それに対して、ネットワークを経由してプリンタを利用するコンピュータを「クライアント」と呼びます。

●プリンタ共有を使用したネットワーク構成例



プリンタを共有化するとコンピュータ①(サーバ側)に接続されたプリンタをコンピュータ②と③(クライアント側)がネットワーク経由で利用できるようになります。

※プリンタ共有でクライアント側から印刷するには、サーバ側のコンピュータを起動しておく必要があります。

サーバ側のコンピュータについて設定する



クライアント側の設定方法は

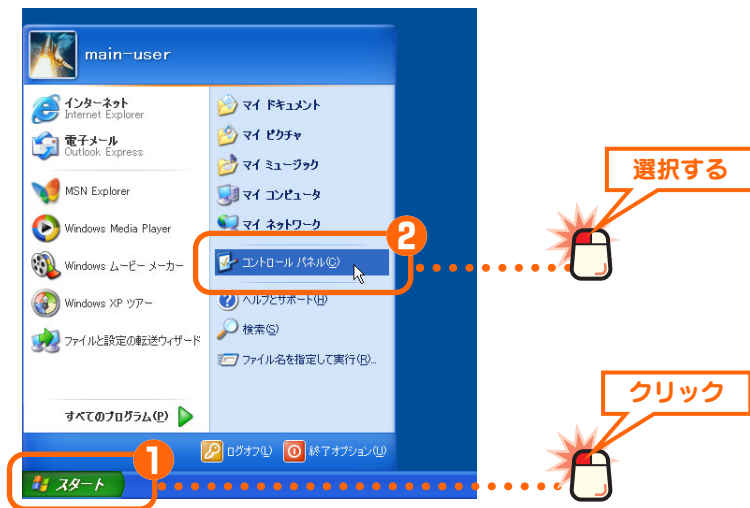
サーバ側の設定が完了したあとで、[XP 編-16]ページ「クライアント側のコンピュータについて設定する」へ進んでください。

サーバ側のコンピュータ(前述の構成例ではコンピュータ①)に接続したプリンタを共有するための設定をします。

●プリンタの準備を完了しておいてください

サーバ側のコンピュータについては、あらかじめプリンタドライバのインストールなど必要な設定をおこない、プリンタから印刷できることを確認しておいてください。ドライバのインストール方法はプリンタに付属のマニュアルをお読みください。

1 ①[スタート]ボタン→②[コントロールパネル]を選択します。



クラシック表示の場合
 [プリンタと FAX]アイコンをダブルクリックします。手順 **4** へ進みます。

2 [プリンタとその他ハードウェア]を選択します。



3 [プリンタと FAX]を選択します。





プリンタのアイコンに表示される名称は、実際にご使用の機種の名称が表示されます。
画面例はEPSON PM-950Cを使用している場合です。



プリンタアイコンを右クリックし、メニューの[共有]を選択する方法もあります。



[追加ドライバ]ボタン

ネットワーク上にWindows XP以外のコンピュータがある場合、このボタンをクリックし、一覧からOSを選択するとそのOSに必要なプリンタドライバもこのコンピュータにインストールしておくことができます。ただし、INF形式のプリンタドライバだけになります。EXE形式のプリンタドライバは使用できませんので、最近のプリンタではこの機能を利用できない場合があります。設定ガイドではこの機能を使用せずに作業を進めます。

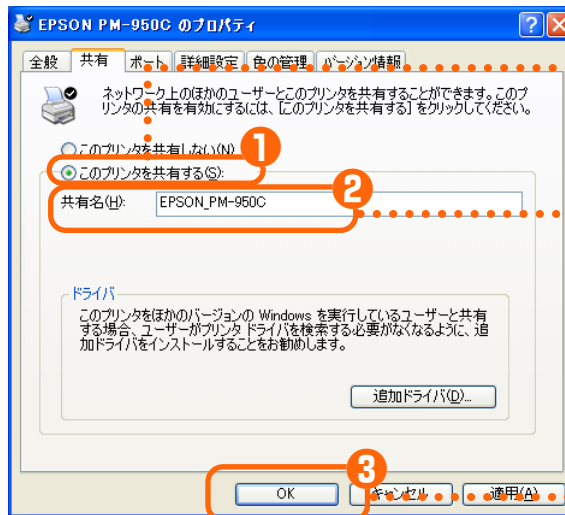
- 4** ① 共有したいプリンタのアイコンを選択します。
② メニューにある[このプリンタの共有]をクリックします。



選択する

クリック

- 5** ① [このプリンタを共有する]をオンにします。
② 必要に応じて[共有名]を入力します。
③ **OK** ボタンをクリックします。



選択する

入力する

クリック

●共有名

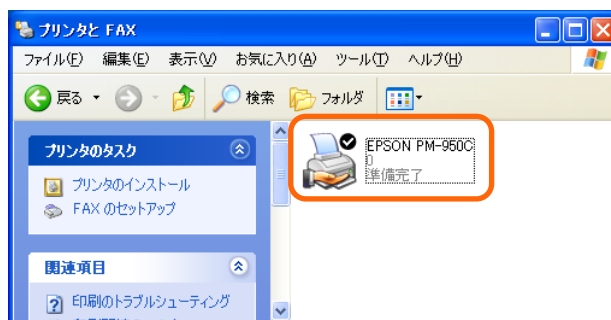
共有名は初期値のままでもかまいません。必要に応じて入力してください。使用できる文字は半角英数字、「-」、「_」などです。この名称は他のコンピュータで表示される名称になります。



Windows Me/98 マシンがある場合

Windows Me/98 を使用するコンピュータがクライアント側にある場合、共有名は半角英数字 12 文字以内に設定してください。12 文字を超えると Windows Me/98 では認識できません。

6 共有化したプリンタに手のひらマークが表示されます。



これでサーバ側のコンピュータのプリンタ共有設定は完了です。続いてクライアント側のコンピュータの共有設定をします。次の「クライアント側のコンピュータについて設定する」へ進みます。

クライアント側のコンピュータについて設定する



サーバとクライアント

一般的にプリンタ共有では、プリンタを直接接続したコンピュータを「サーバ」と呼びます。それに対して、ネットワークを経由してプリンタを利用するコンピュータを「クライアント」と呼びます。



一部のプリンタについては、コンピュータにプリンタを直接接続し、電源を入れておかないとプリンタドライバがインストールできないものがあります。このような場合は、クライアント側のコンピュータにプリンタを接続してプリンタドライバをインストールしてください。インストール完了後、プリンタをサーバ側のコンピュータに接続してください。

クライアント側の各コンピュータで、サーバ側のコンピュータに接続されたプリンタを利用できるように設定します。コンピュータのOSがWindows XP 以外の場合は、実際に使用しているOS 編の該当ページをお読みください。

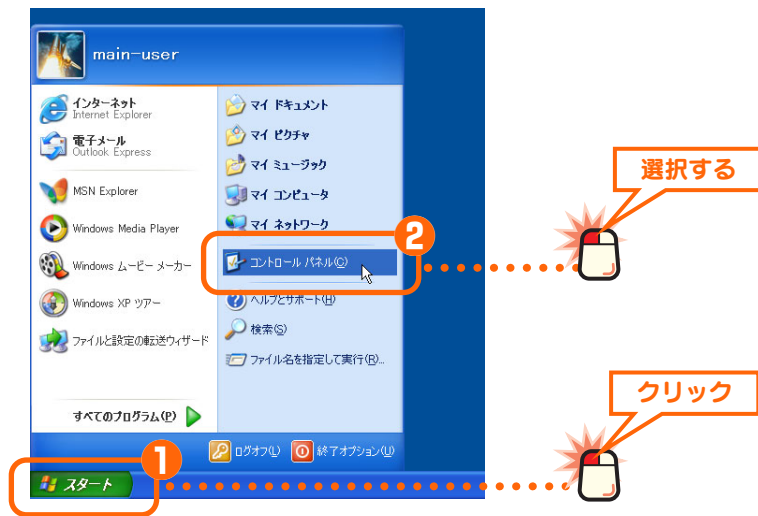
(例)Windows Me の場合→ネットワーク設定マニュアル Windows Me/98 編の「クライアント側のコンピュータについて設定する」

●サーバ側のコンピュータのOSがWindows XP 以外の場合

共有したプリンタを利用するには、クライアント側のコンピュータにもプリンタドライバが必要になります。サーバ側とクライアント側のコンピュータが同じOS を使用している場合は、このあとの作業でサーバ側から自動的にプリンタドライバがインストールされますが、OS が異なる場合はあらかじめクライアント側のコンピュータにプリンタドライバをインストールしておく必要があります。以下の点に注意してあらかじめプリンタドライバをインストールしておいてください。

- ①プリンタの取扱説明書に従ってクライアント側のコンピュータにプリンタドライバをインストールします。
- ②途中でプリンタポートを指定する画面が表示された場合は、LPT1 または USB ポートを指定してください。実際にはこれらのポートは使用しませんがプリンタドライバをインストールするために仮に指定します。
- ③インストールが終われば、このあとの手順 **1** へ進みます。

1 ①[スタート]ボタン→②[コントロールパネル]を選択します。



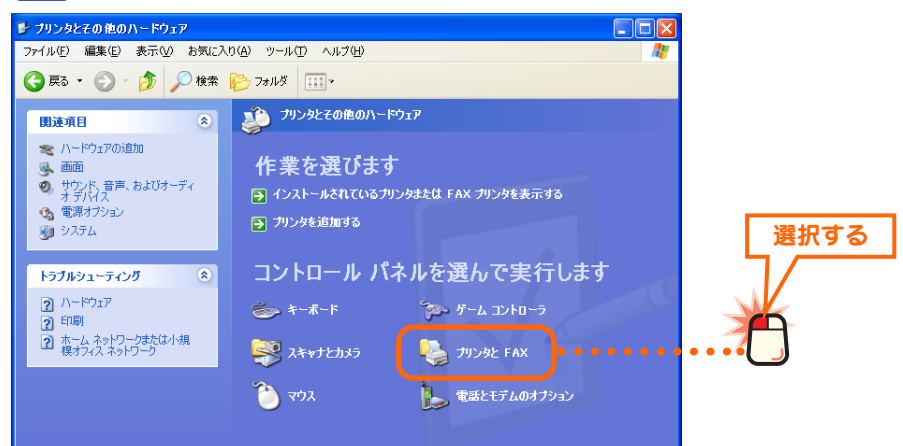
クラシック表示の場合
 [プリンタとFAX]アイコンをダブル
 クリックします。手順 **4** へ進み
 ます。

プリンタと FAX

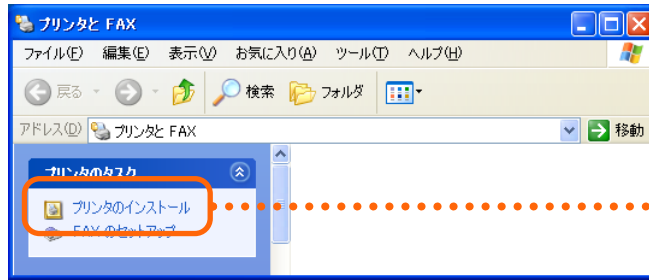
2 [プリンタとその他ハードウェア]を選択します。



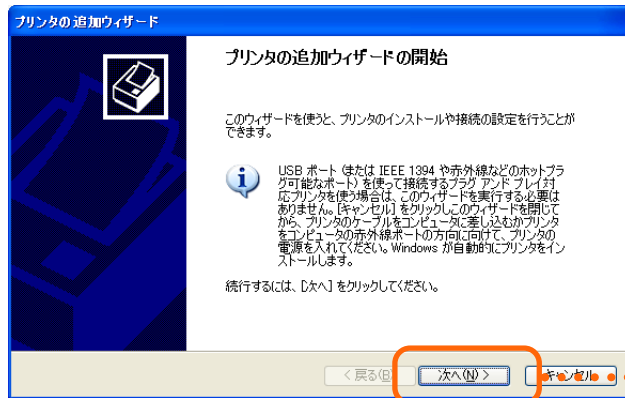
3 [プリンタとFAX]を選択します。



4 [プリンタのインストール]を選択します。

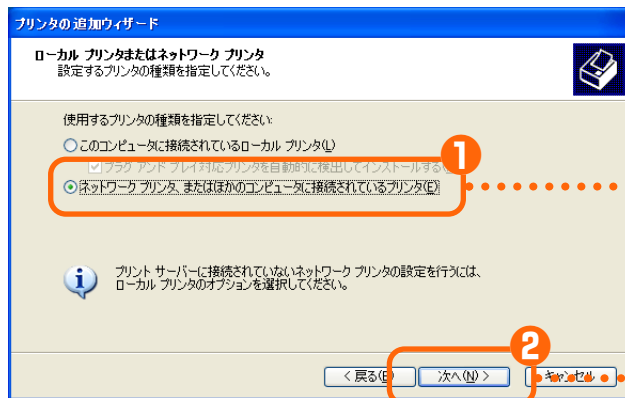


5 次へ ボタンをクリックします。

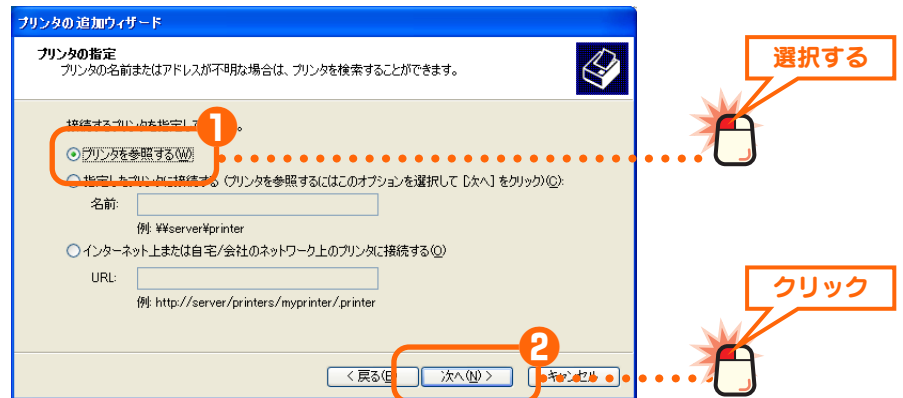


6 ① [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ]を選択します。

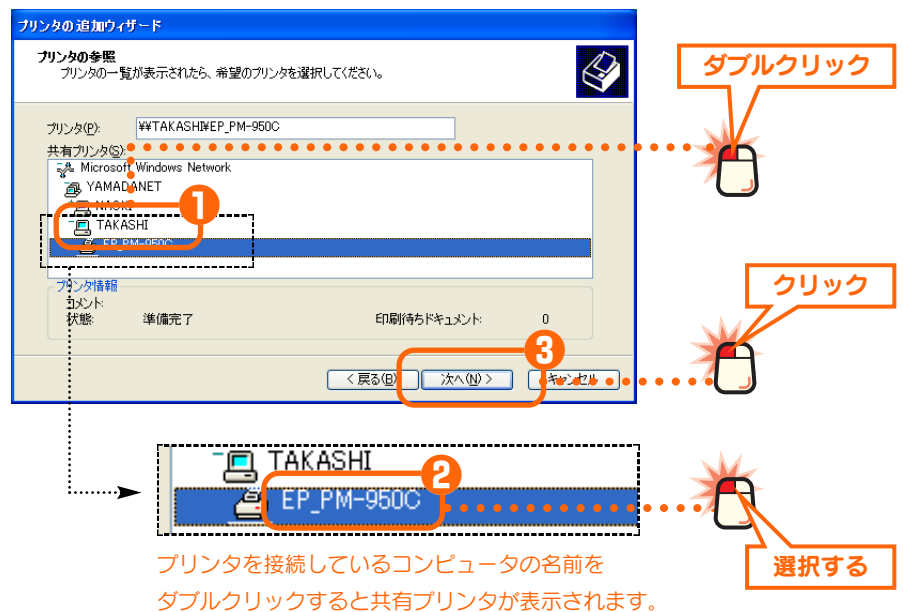
② 次へ ボタンをクリックします。



- 7** ① [プリンタを参照する] を選択します。
② 次へ ボタンをクリックします。

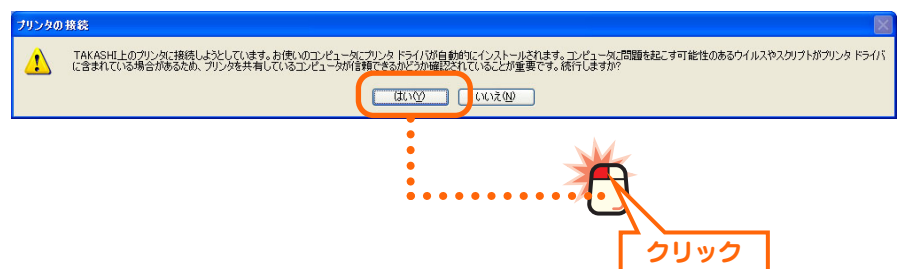


- 8** ① プリンタを接続しているコンピュータの名前をダブルクリックします。
② 共有したプリンタの名称が表示されますので選択します。
③ 次へ ボタンをクリックします。



右の画面は、サーバ側とクライアント側がともに Windows XP を使用している場合で、使用するプリンタのドライバがクライアント側にインストールされていない場合に表示されます。

- 9** 以下の画面が表示された場合は、はい ボタンをクリックします。それ以外は手順 10 へ進みます。



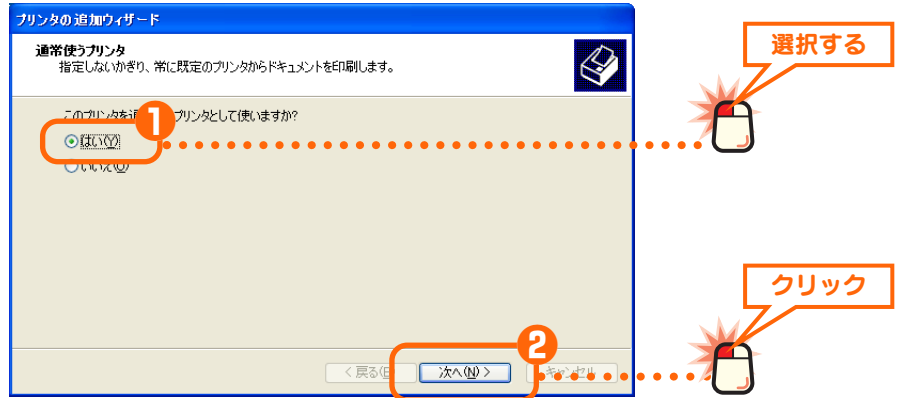


右の画面は、通常使うプリンタとして他のプリンタがすでに登録されている場合に表示されます。

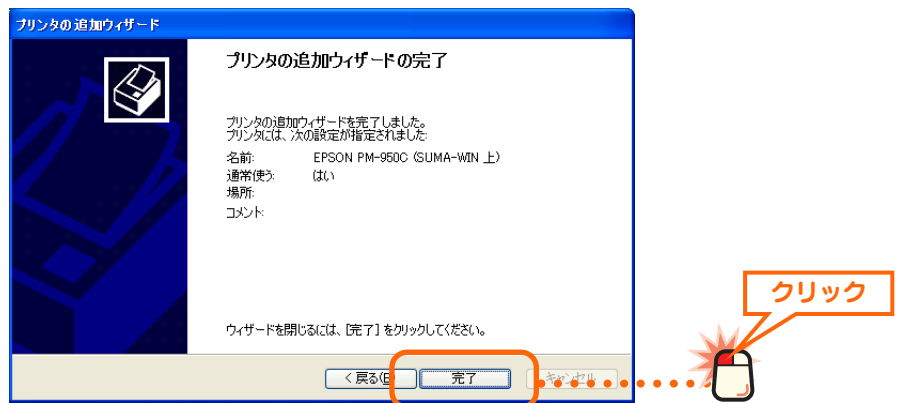
10 以下の画面が表示された場合は **①②** の操作をします。それ以外は手順 **11** へ進みます。

① [はい] を選択します。

② **次へ** ボタンをクリックします。



11 **完了** ボタンをクリックします。



通常印刷するプリンタに設定していない場合は

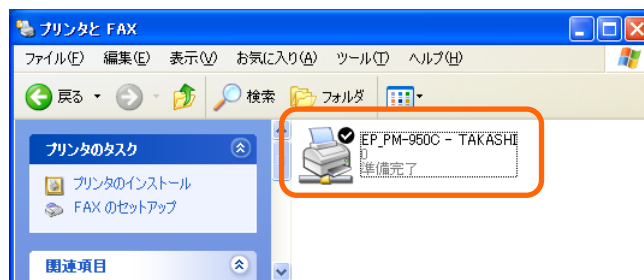
各アプリケーションの印刷画面にある[プリンタ]で、共有しているプリンタを指定すれば、あとはプリンタを直結している場合と同じ手順で印刷できます。



双方向のプリンタについて

ネットワークで共有しているプリンタとは双方向通信ができないため、プリンタユーティリティの双方向を利用した機能については正常に動作しないことがあります。

12 <プリンタと FAX> 画面に共有しているプリンタが表示されます。



これで Windows XP のクライアント側のコンピュータでプリンタを共有する設定は完了です。通常使用するプリンタに設定している場合は、プリンタを直結している場合と同じ手順で印刷できます。

4

Windows XP のアカウントと アクセス権を設定する

Windows XP Professional では、共有フォルダやドライブなどにアクセスできるユーザーを限定し、さらにユーザーごとにアクセス権を設定するセキュリティ機能があります。ここではこの機能を利用するためのアカウントの作成方法と共有設定でのアクセス権の設定方法を説明します。なお、Windows XP Home Edition の場合、通常モードではユーザーごとのアクセス権を設定することはできません。

アカウントを登録する



「アカウント」とは

アカウントは、ユーザー名とパスワードなどで構成されています。ユーザーは自分のパソコンに、登録されたユーザー名とパスワードを使ってログオンしておくことで、アクセスを許可された共有フォルダなどにアクセスすることができます。



クライアント

設定ガイドでは、共有フォルダを設定しているコンピュータにアクセスするネットワーク上の他のコンピュータを「クライアント」を記述しています。

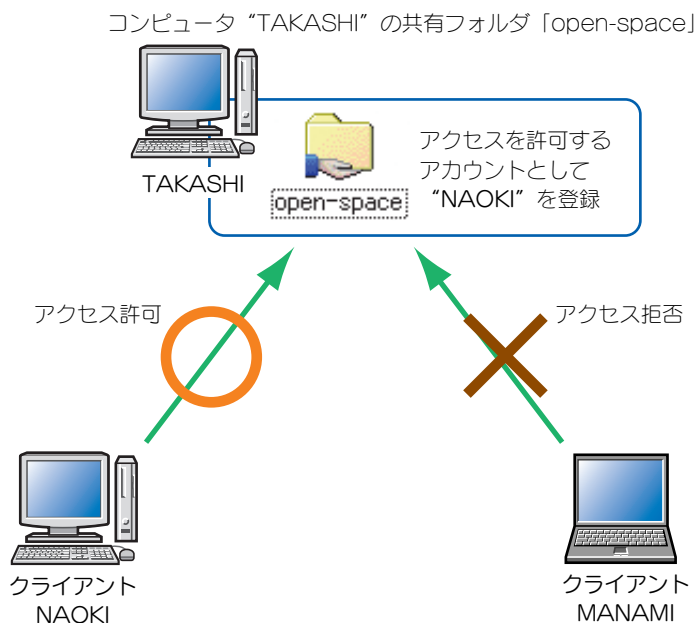


ログオン時の注意

クライアント側になるコンピュータは、相手の共有フォルダに設定されたアカウントのユーザー名とパスワードでログオンしておく必要があります。異なるユーザー名とパスワードでログオンしている場合はアクセスを拒否されます。

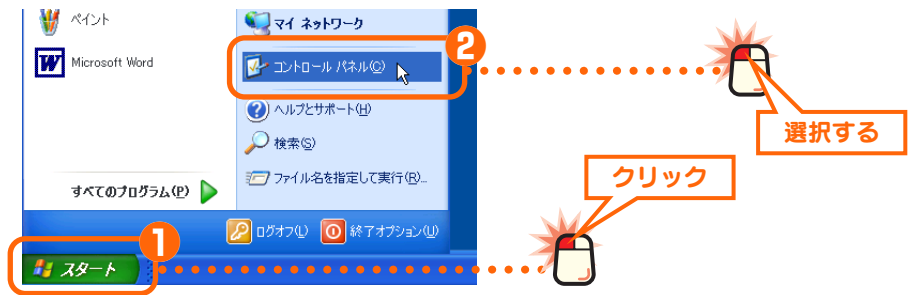
共有設定でのセキュリティ機能を利用するには、あらかじめアクセスを許可するユーザーのアカウントを作成し、共有設定でそのアカウントを登録しておく必要があります。これらの設定を正しくしていないと、共有フォルダなどに他のコンピュータ(クライアント)から接続することはできません。共有フォルダなどを作成する前に、アクセスを許可するユーザーのアカウントを作成してください。

■共有フォルダへのアクセス許可の例




クライアント「NAOKI」は「open-space」フォルダにアクセスすることを許可されているので「open-space」フォルダにアクセスできます。しかし、クライアント「MANAMI」はアカウントが登録されていないのでアクセスしようとすると拒否されます。

1 ①[スタート]ボタン→②[コントロールパネル]を選択します。



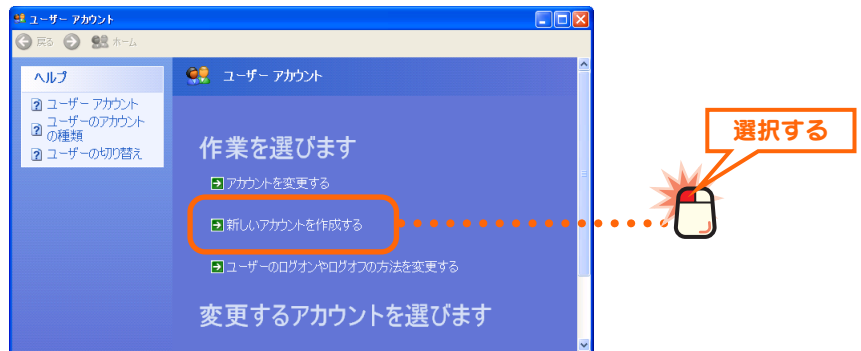
クラシック表示の場合
[ユーザー アカウント]アイコンをダブルクリックします。



2 [ユーザーアカウント]を選択します。

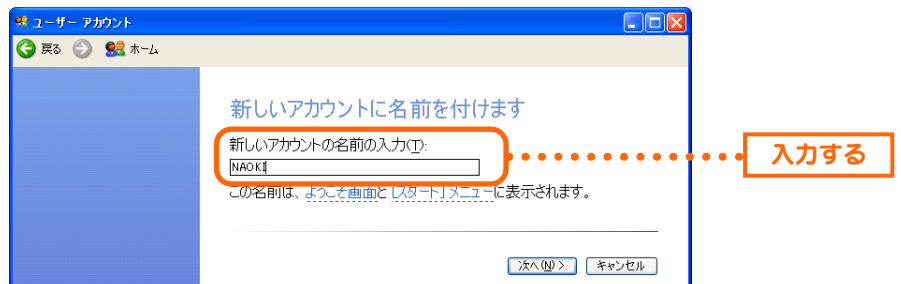


3 [新しいアカウントを作成する]を選択します。



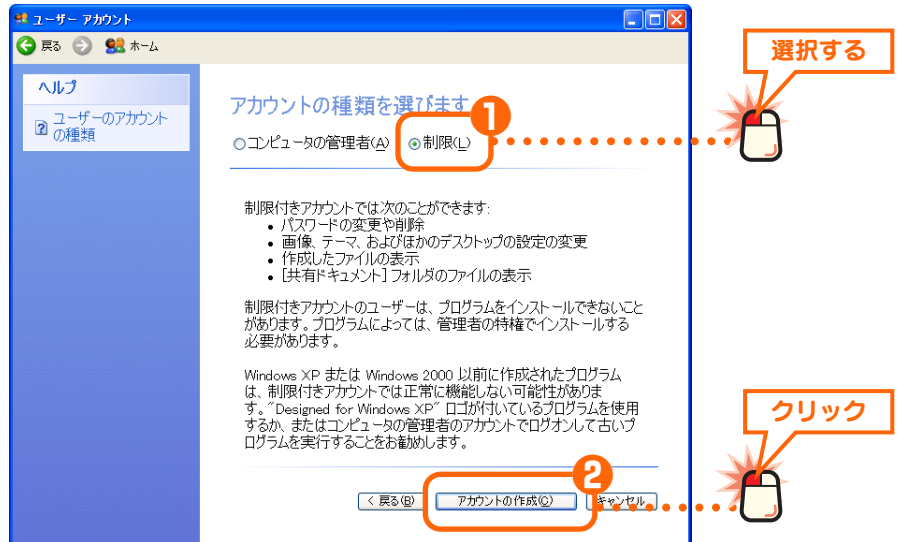
アカウントの名前
ここに入力するユーザー名は、アクセスを許可するクライアントがログオンするときに使用している名前です。

4 [新しいアカウントの名前の入力]にユーザー名を入力し、**次へ** ボタンをクリックします。

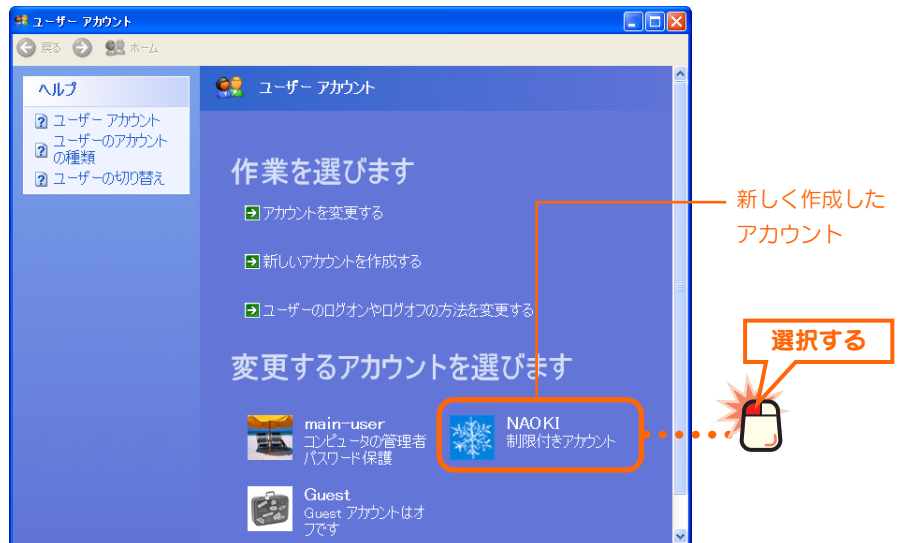


・ユーザー名は大文字と小文字が区別されますので注意してください。

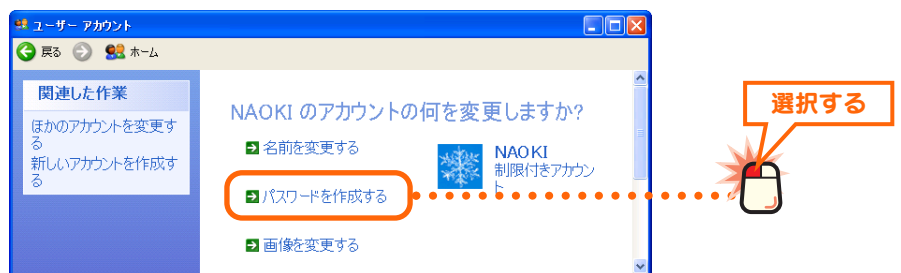
- 5** ① [制限] を選択します。
 ② アカウントの作成 ボタンをクリックします。



- 6** 新しく作成したユーザーのアカウントが登録されます。続いてパスワードを設定しますので、作成したアカウントを選択します。



- 7** [パスワードを作成する] を選択します。

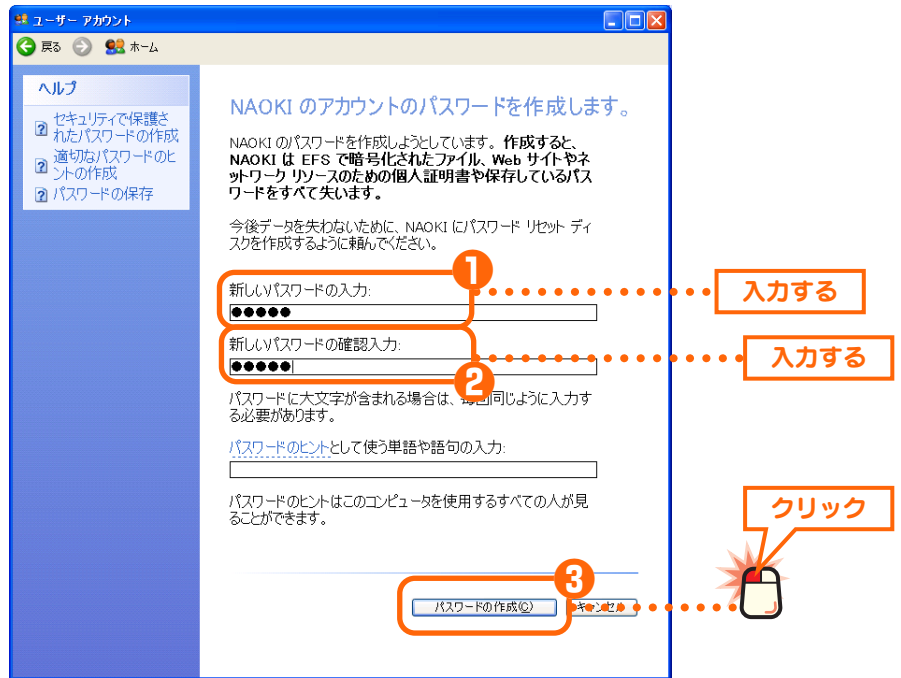




パスワード

ここに入力するパスワードはアクセスを許可するクライアントがログオンするときに使用しているユーザー名のパスワードです。

- 8 ① [新しいパスワードの入力] にパスワードを入力します。
- ② [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードをもう一度入力します。
- ③ **パスワードの作成** ボタンをクリックします。



- 9 <ユーザーアカウント> 画面の右上にあるクローズボックス  をクリックして画面を閉じます。

これでユーザーのアカウントの登録は完了です。同じ要領でアクセスを許可するすべてのユーザーのアカウントを登録してください。登録が終われば次の「アクセス権限が設定できるようにオプションを変更する」へ進みます。

アクセス権限が設定できるようにオプションを変更する

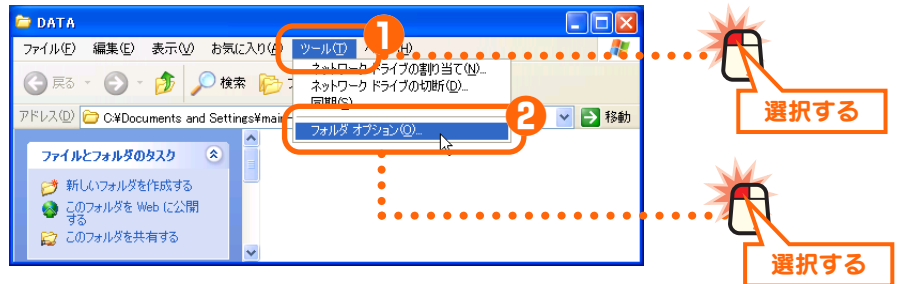
Windows XP Professional は初期値では共有設定しているフォルダなどにネットワーク上のすべてのユーザーがアクセスできるようになっています。アカウント(ユーザー)単位でアクセス権限を設定するには、先にフォルダオプションの変更と Guest アカウントを無効にする作業が必要です。

フォルダオプションを変更する

共有しているフォルダ/ドライブ/プリンタごとにアカウントのアクセス権限を設定できるようにするにはフォルダオプションの「簡易ファイルの共有を使用する」をオフにする必要があります。

1 〈フォルダオプション〉 画面を表示するために任意のフォルダを開きます。どのフォルダを開いてもかまいません。

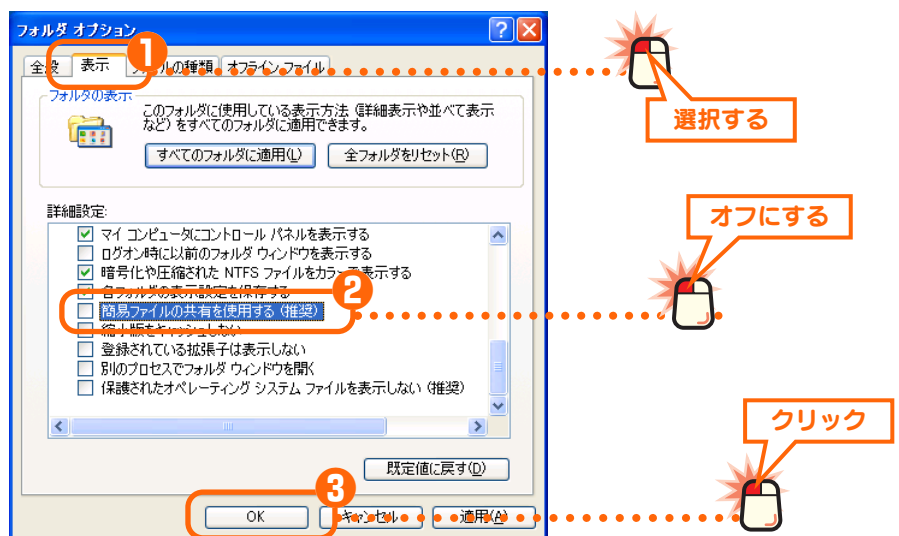
2 ①【ツール】メニューを選択します。
②メニューの[フォルダオプション]を選択します。



簡易ファイルの共有を使用する

このオプションをオフにすることで、共有設定したフォルダなどのプロパティに[アクセス許可]ボタンが表示されるようになります。また、NTFS フォーマットのハードディスクを使用している場合は【セキュリティ】タブが追加されます。

3 ①【表示】タブを選択します。
②[詳細設定]にある[簡易ファイルの共有を使用する(推奨)]をオフにします。
③ **OK** ボタンをクリックします。



これで共有しているフォルダなどにアカウントごとのアクセス権限を設定できるようになります。次の「Guest アカウントを無効にする」へ進みます。

Guest アカウントを無効にする

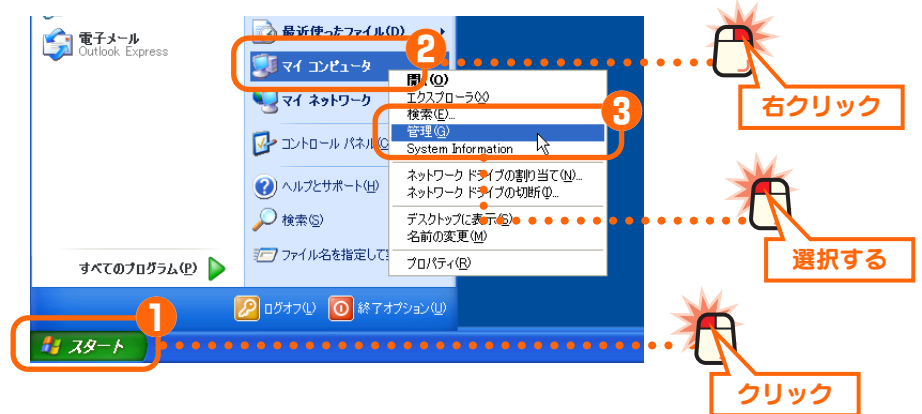


Guest アカウントのアクセス権限

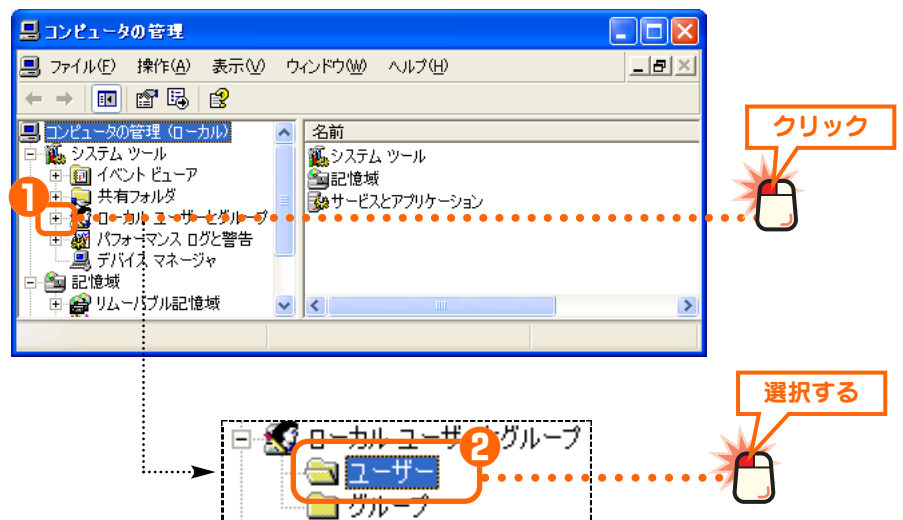
Guest アカウントはネットワーク上のすべてのユーザーが共有フォルダなどにアクセスできるようになっています。ただし、読み取り、変更などの権限については共有設定ごとに指定することができます。

Windows XP Professional では「Guest」アカウントと呼ばれるアカウントが用意されています。Guest アカウントが有効だと共有しているフォルダなどに、すべてのユーザーが自由にアクセスできます。初期値では有効に設定されていますので必ず無効に変更してください。

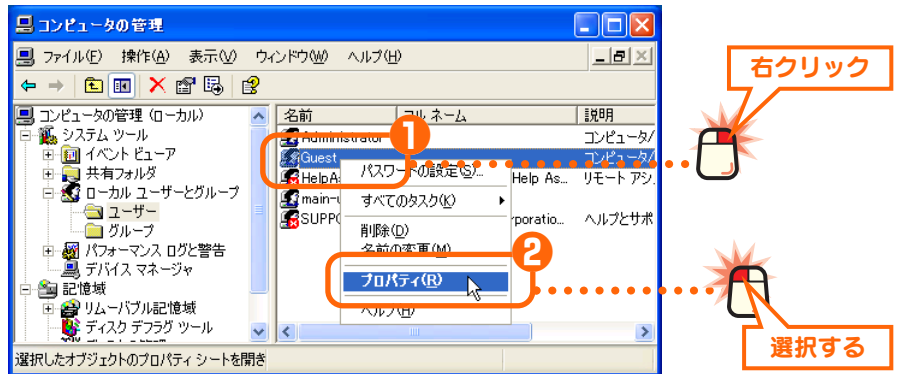
- 1 [スタート]ボタン → 2 [マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。
- 3 メニューから[管理]を選択します。



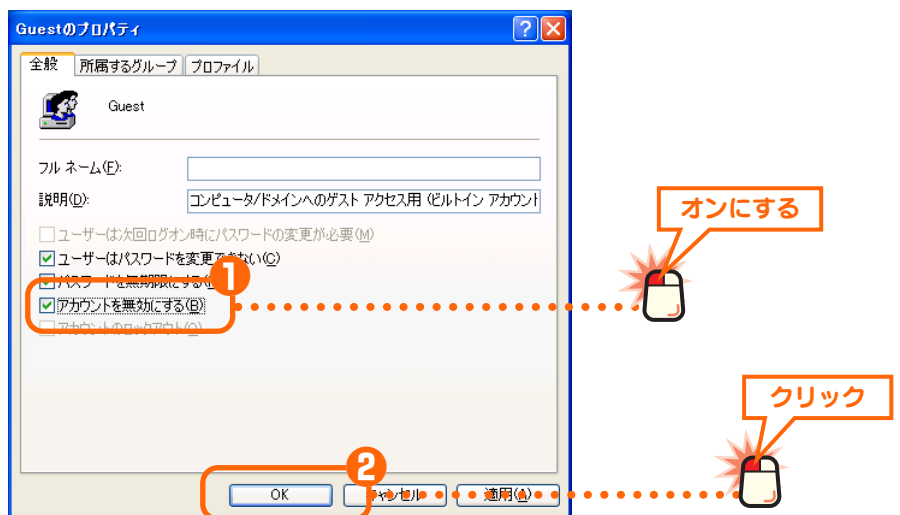
- 2 1 画面左の【ツリー】にある[ローカル ユーザーとグループ]の + をクリックします。
- 2 [ユーザー]フォルダを選択します。



- 3** ①画面右に表示されたユーザーのリストにある[Guest]を右クリックします。
②メニューの[プロパティ]を選択します。



- 4** ①[アカウントを無効にする]のチェックをオンにします。
② **OK** ボタンをクリックします。



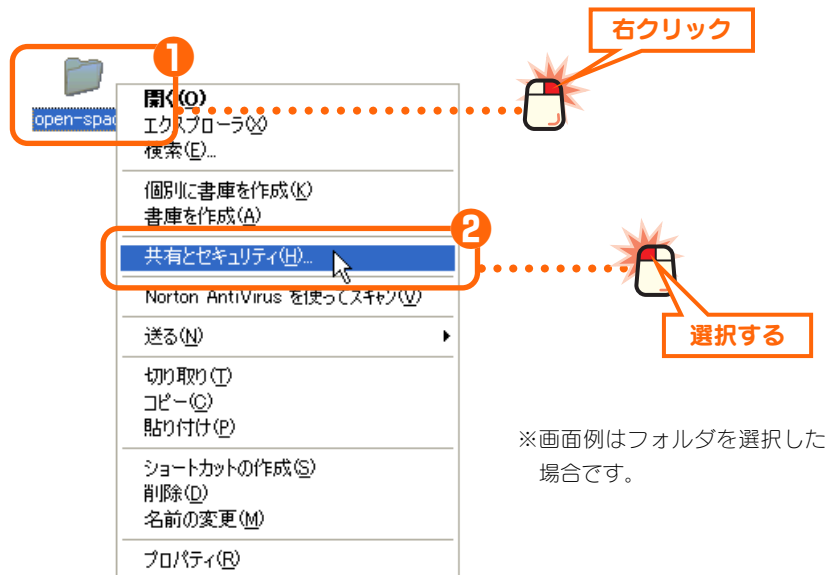
- 5** 〈コンピュータの管理〉画面を閉じます。

これで Guest のアカウントが無効になりました。このあとは共有しているフォルダなどのアクセス権限を設定します。次の「フォルダなどのアクセス権限を設定する」へ進みます。

フォルダなどのアクセス権限を設定する

ここでは例として任意のフォルダを共有化し、アクセス権限を設定する方法を説明しています。すでに共有済みの場合はアクセス権限の設定だけをしてください。

- 1** 共有したいフォルダまたはドライブを右クリックします。
- 2** メニューから[共有とセキュリティ]を選択します。



[アクセス許可]ボタン

フォルダオプションの設定を変更していないと、このボタンは表示されません。詳しくは[XP 編-24]ページ「フォルダオプションを変更する」をお読みください。

- 2** **1** [このフォルダを共有する]を選択します。
- 2** **アクセス許可** ボタンをクリックします。



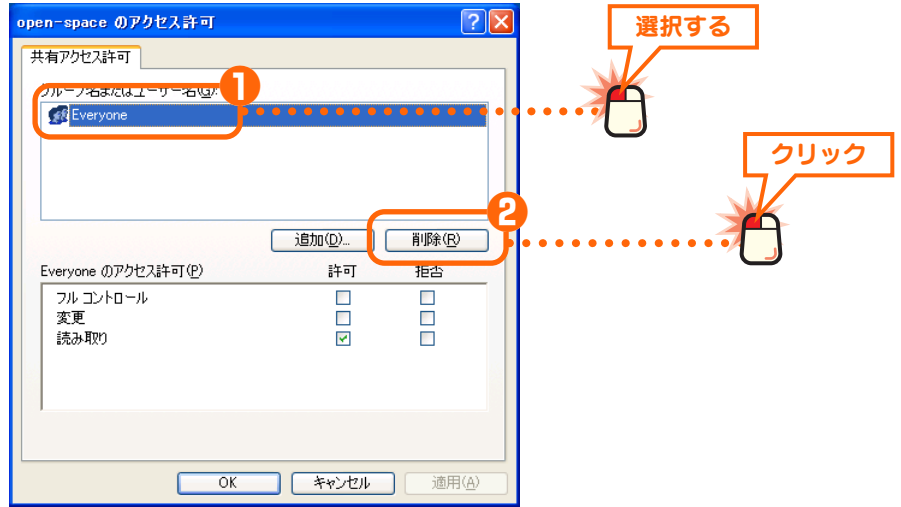


「Everyone」の削除

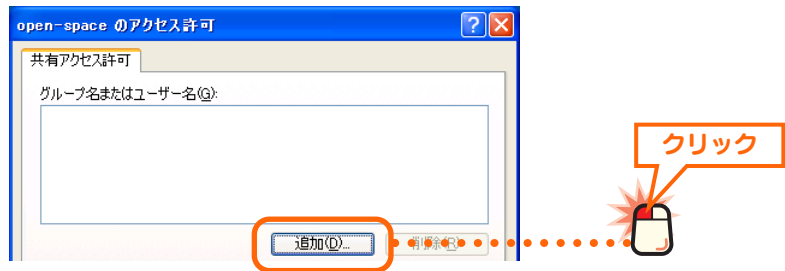
「Everyone」は登録されたアカウントすべてというグループアカウントです。特定のアカウントだけを指定したい場合は必ず削除してください。すべてのアカウントのアクセスを許可する場合は、Everyoneをそのまま登録しておけば、ユーザーごとのアカウントを登録する作業は不要です。

Everyoneを登録しても、アカウントを作成していないコンピュータは共有フォルダにアクセスすることはできません。

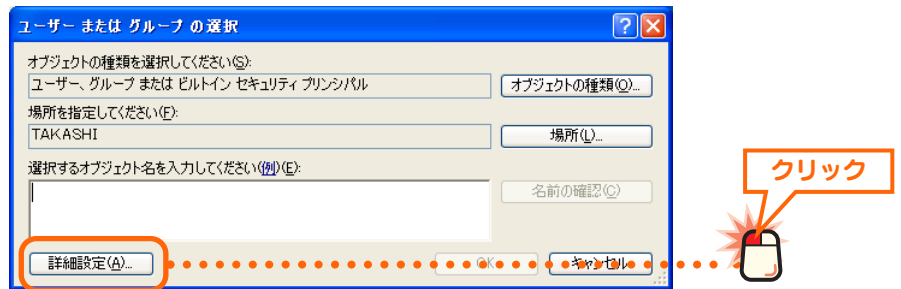
- 3** ①「Everyone」を選択します。
- ② **削除** ボタンをクリックします。



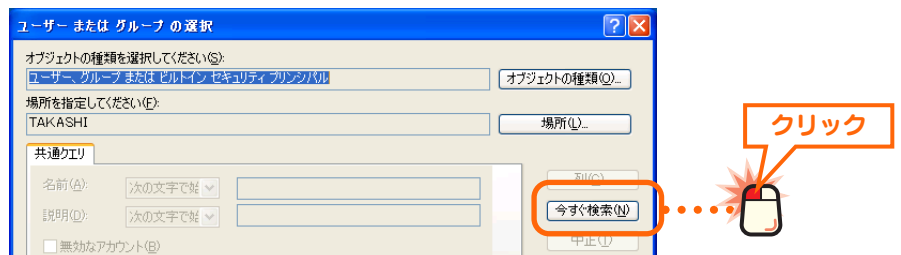
- 4** **追加** ボタンをクリックします。



- 5** **詳細設定** ボタンをクリックします。



- 6** **今すぐ検索** ボタンをクリックします。

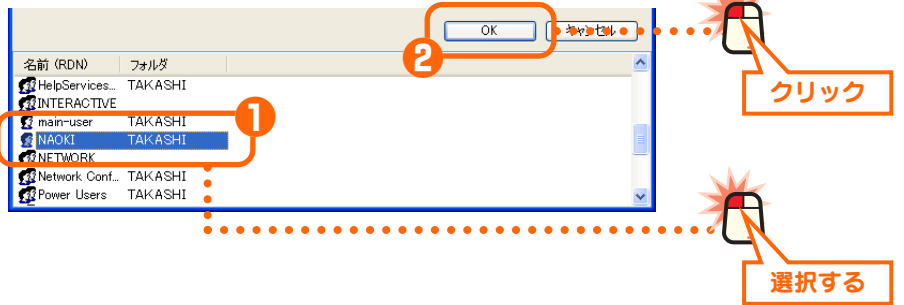




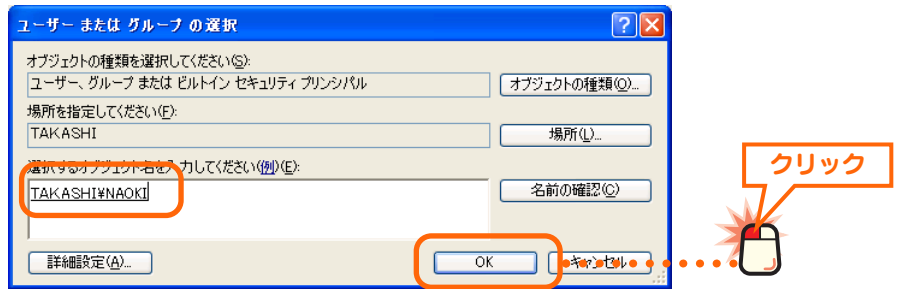
複数のアカウントを同時に
選択するには

[Ctrl] キーを押しながらリストのアカウントを選択すると、同時に複数のアカウントを選択することができます。

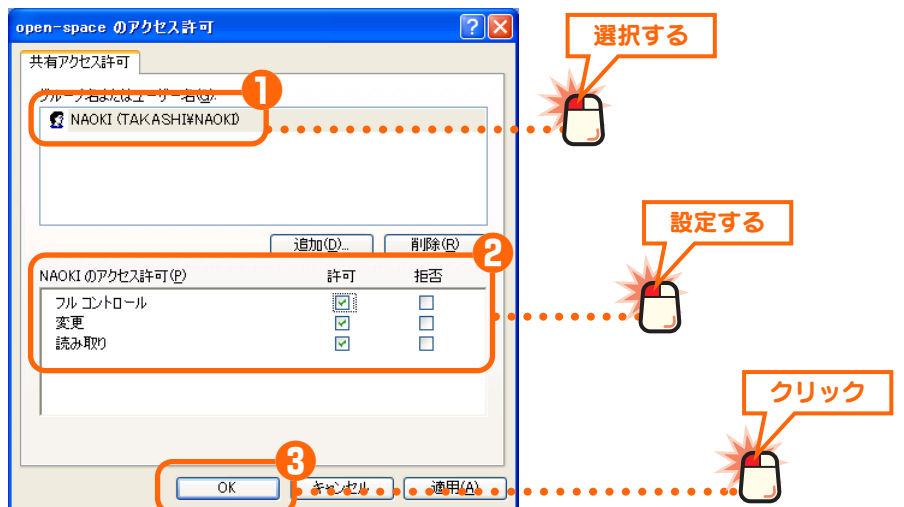
- 7** ① リストの中からアクセスを許可するアカウント(ユーザー)を選択します。
- ② すべてのアカウントを選択したら **OK** ボタンをクリックします。



- 8** リストにアカウントが表示されます。 **OK** ボタンをクリックします。



- 9** リストに、アクセスを許可するアカウントが表示されます。
 - ① アクセス権を設定するアカウントを選択します。
 - ② [アクセス許可]でアクセス権を設定します。
 - ③ **OK** ボタンをクリックします。



10 プロパティに戻ります。このあとはハードディスクが NTFS フォーマットか FAT32 フォーマットかで手順が異なります。

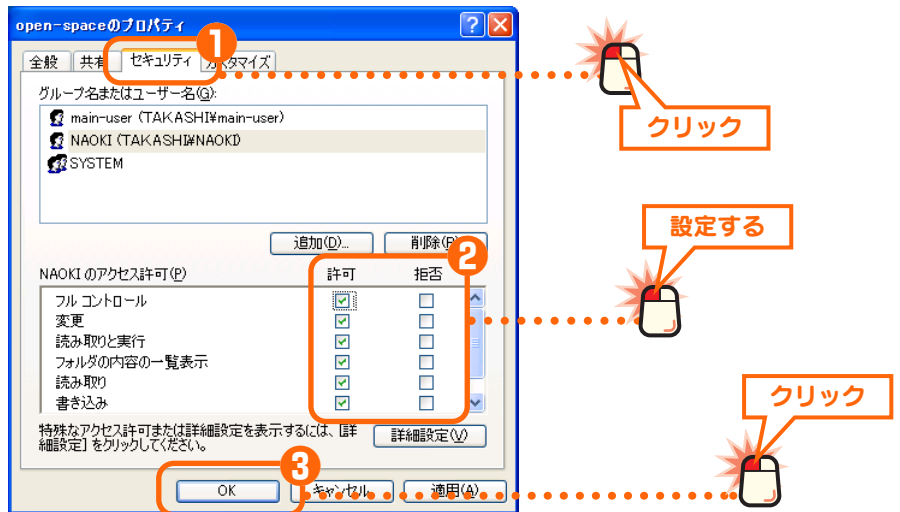


【セキュリティ】タブの設定

手順 9 のアクセス許可設定と矛盾しないようしてください。

● NTFS フォーマットの場合

- 1 【セキュリティ】タブが存在しますので、このタブをクリックします。
- 2 手順 6 ~ 9 と同じ要領でアカウントとアクセス権限を設定します。
- 3 プロパティの **OK** ボタンをクリックします。
- 4 手順 11 へ進みます。



● FAT32 の場合

FAT32 フォーマットでは【セキュリティ】タブはありません。プロパティの **OK** ボタンをクリックします。手順 11 へ進みます。

11 アイコンに手のひらマークが付きます。



- ・手のひらマークが共有中のフォルダ/ドライブアイコンであることを表します。

これで共有フォルダなどへのアカウント(ユーザー)単位でのアクセス権限の設定は完了です。